

第49回 ヘルンをたたえる 青少年スピーチコンテスト

2015年

9月27日[日]

松江市

総合文化センター

出場者募集のご案内

ON THE AKASAKA ROAD, in Tokyo, there is a slope called Ki-no-kuni-zaka. On one side of this slope you see an ancient moat, deep and very wide, with high green banks and on the other side of the road extend the long and lofty walls of an imperial palace. The neighborhood was very lonesome after dark; and belated pedestrians would not go up the Ki-no-kuni-zaka, alone, after sunset.

All because of a Mujina that used to walk there.

The last man who saw the Mujina was an old merchant of Kyobashi. One night, at a late hour, he was hurrying up the Ki-no-kuni-zaka, when he perceived a woman crouching by the moat, all alone, and weeping bitterly. Fearing that she intended to drown herself, he stopped to offer her his assistance. She appeared to be a slight and graceful person, handsomely dressed; and her hair was arranged like that of a young girl of good family. "O-jochu," he exclaimed, approaching her,— "O-jochu, do not cry like that!... Tell me what the trouble is." But she continued to weep,— hiding her face from him with one of her long sleeves. "O-jochu," he said again, as gently as he could,— "please, please listen to me!... This is no place for a young lady at night! Do not cry." Slowly she rose up, but turned her back to him, and continued to moan and sob behind her sleeve. He laid his hand lightly upon her "O-jochu!—O-jochu! O-jochu!..." Then that O-jochu turned round, and dropped her sleeve, and stroked her face with her hand;—and the man saw that she had no eyes or nose or mouth,—and he screamed and ran away.

Up the Ki-no-kuni-zaka he ran and ran; and all was black and empty before him. On and on he ran, never daring to look back; and at last he saw a lantern, so far away that it looked like the gleam of a firefly; and he made for it. It was the lantern of a soba-seller, who had set down his stand by the road-side. He flung himself down at the feet of the soba-seller, crying out! "Aa!—aa!!—aaa!!!"...

"Kore kore!" roughly exclaimed the *soba*-man. "What is the matter with you? Anybody hurt you?"

"No—nobody hurt me" panted the other,— "only ... Aa!—aa!!" ...

"—Only scared you?" asked the peddler. "Robbers?"

"Not robbers,—not robbers," gasped the terrified man.... "I saw... I saw a woman by the moat;—and she showed me... Aa! I cannot tell you what she showed me!"

"He! Was it anything like THIS?"

cried the *soba*-man, stroking his own face—which became like an Egg.... And, simultaneously, the light went out.

—"Mujina"
「むじな」

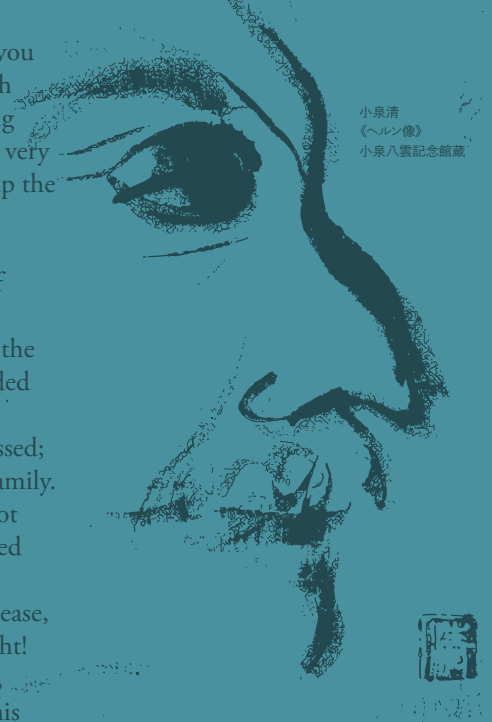
Sunday,

September 27, 2015

General Culture Center
of Matsue City

英語で楽しむ小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の世界

THE 49th Youth Speech Contest
in Honor of Lafcadio Hearn



小泉清
《ヘルン像》
小泉八雲記念館蔵



2015.9.27

第49回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト 開催要項

1. 趣旨

国際化時代を迎え、松江市を世界に紹介した文豪小泉八雲(ヘルン、ラフカディオ・ハーン)の偉大な文業をたたえ、その命日を記念して、八雲の作品を暗唱するコンテストを開催することによって、青少年の英語の表現力向上に資し、国際理解と親善に貢献することを目的とします。

2. 主催

松江市・松江市教育委員会・八雲会

3. 後援

アイルランド大使館・一般財団法人日本国際協力センター・山陰日本アイルランド協会・新宿区・熊本市・焼津市・山陰中央新報社・朝日新聞松江総局・毎日新聞松江支局・読売新聞松江支局・産経新聞松江支局・日本経済新聞社松江支局・中国新聞社・新日本海新聞社・島根日日新聞社・共同通信社松江支局・時事通信社松江支局・NHK松江放送局・TSK山陰中央テレビ・BSS山陰放送・日本海テレビ・エフエム山陰・山陰ケーブルビジョン

4. 開催日時

平成27年9月27日(日)9時から18時まで

- ◆開催時間は、参加者数により変更する場合があります。

5. 開催場所

松江市総合文化センター(松江市西津田六丁目5番44号)

6. 応募規定

①参加資格

ジュニアの部——小学生及び中学生

シニアの部——高校生(高等専門学校在学者は3年生まで)

- ◆両部門とも1校2名以内とします。

②スピーチの内容

八雲の英文の作品(『改訂 新・小泉八雲暗唱読本』)の暗唱発表。

- ◆3分以上5分以内
- ◆暗唱文の前後に発表者の感想を英語で述べたり、発表者の学習進度に応じて、原文を省略したり、書き換えても結構

ですが、その場合は、暗唱読本の原文との違いがわかるように、見え消しで記入した暗唱文を5部添付して下さい。(『改訂 新・小泉八雲暗唱読本』の文と全く同一の場合は、暗唱文の添付は必要ありません。)

③申込方法

所定の参加申込書に氏名、性別、学年、題名を明記し、学校を通じて申し込んでください。

- ◆学齢期に2年以上英語圏に滞在した方は、その旨を参加申込書の備考欄に記載してください。
- ◆発表時刻に希望があれば、参加申込書に記載してください。なお、発表順は主催者において決定し、開催日10日前にその他の連絡事項とともに通知します。

④申込締切

平成27年9月1日(火)

- ◆当日消印有効

7. 審査

発音・イントネーション・ストレス・リズム等の言語(英語)要素とともに、国際的視野に立ったプレゼンテーション力全般について審査します。

8. 賞

松江市長賞(賞状・楯・賞品)——各部門1名
松江市教育委員会教育長賞(賞状・楯・賞品)——各部門1名
八雲会長賞(賞状・楯・賞品)——各部門1名
日本国際協力センター理事長賞(賞状・楯・賞品)——各部門1名
山陰日本アイルランド協会会長賞(賞状・楯・賞品)——各部門1名
八雲会奨励賞(賞状・賞品)——若干名

【特別賞】

へるん賞(賞状・楯)——ジュニアの部1名(松江市長賞受賞者)
アイルランド大使賞(賞状・楯)——シニアの部1名(松江市長賞受賞者)

9. 申し込み・問い合わせ先

松江市産業観光部観光文化課文化係

〒690-8540 島根県松江市末次町86番地

TEL: 0852-55-5517 FAX: 0852-55-5634

E-mail: kankou@city.matsue.lg.jp

49th
49th
September 27, 2015
Culture Center
Izumi City

小泉八雲

(ラフカディオ・ハーン)

Lafcadio Hearn

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、1850年6月27日ギリシアのサンタ・マウラ島リュウカディア(現在のレフカダ)で生まれた。「ラフカディオ」の名前は島の名による。父はアイルランド人で当時ギリシアで駐屯していたイギリス軍の軍医、母はギリシア人でキシラという島に生まれた。幼い頃母と共にダブリンに移ったが、両親は離婚し、大叔母に育てられた。

16歳の頃、怪我がもとで左眼を失明。その上、父が帰国の船中で死亡したり、大叔母が破産するなど不幸な出来事が続き、経済的な事情から学校をやめざるを得なくなった。

19歳の頃、移民船に乗ってアメリカに渡り、やがて新聞記者となる。すぐれた探訪記事を書くことで、アメリカでは広く知られるようになった。

1890年4月紀行文記者として来日。まもなく島根県尋常中学校の英語教師として松江に赴任し、松江の美しい風物や素朴な人情を愛した。翌年旧松江藩士の娘小泉セツと結婚し、塩見縄手の武家屋敷(現在のヘルン旧居)で暮らした。

1891年11月熊本の第五高等中学校に移り、その後、神戸クロニクル社を経て帝国大学(現在の東京大学)英文学講師となつ



小泉家蔵

たが、その文学講義は若い学生の心をとらえて大変人気があった。1904年9月26日狭心症により、東京にて死去。享年54歳。

日本についての10数冊の著作は、現代において失われつつある「日本の美や心」を広く海外に紹介した名作である。

松江の小泉八雲記念館は、八雲の遺品や遺稿を収め、その人と文業を永く伝えるために設立された。

スピーチ コンテストの あゆみ

1966	10.15	第1回	「ヘルンをたたえる全山陰中学英語スピーチコンテスト」を開催 以後、毎年9月26日の命日の前後に開催
1986	9.28	第20回	「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」と改称 対象を20歳未満の青少年に拡大、全山陰という応募地域枠を撤廃 「アイルランド大使賞」新設
1990	10.28	第24回	小泉八雲来日100年記念
1991	9.29	第25回	国際文化観光都市40周年記念
1998	9.27	第32回	「へるん賞」新設
2001	9.23	第35回	国際文化観光都市制定50周年記念
2003	9.23	第37回	「山陰日本アイルランド協会会長賞」新設
2004	9.18	第38回	小泉八雲没後100年記念
2005	9.17	第39回	「財団法人日本国際協力センター理事長賞」新設
2010	9.26	第44回	小泉八雲来日120年記念

第49回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト 参加申込書

◆学校を通じてお申し込みください。

フリガナ	
氏名	
ローマ字	
性別	学年
題名	『暗唱読本』の ページ
英語圏滞在経験の有無	

フリガナ	
氏名	
ローマ字	
性別	学年
題名	『暗唱読本』の ページ
英語圏滞在経験の有無	

特に希望すること(発表時刻など)

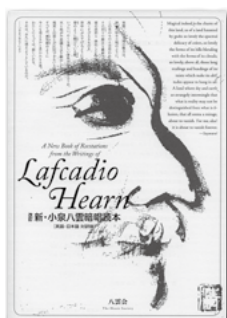
上記のとおり参加を申し込みます。

平成 年 月 日

学校名
校長氏名 印
所在地 〒 - -
電話番号 - -
連絡先(指導教師名)

申込先
松江市観光文化課文化係
〒690-8540
島根県松江市末次町86番地
TEL: 0852-55-5517
FAX: 0852-55-5634

申込締切
平成27年9月1日(火)



『改訂 新・小泉八雲暗唱読本』

本コンテストで使用する
『改訂 新・小泉八雲暗唱読本』(八雲会発行)
定価1,500円(送料別)

参考のために、
過去の優秀者のスピーチを収録したCDを用意しています。
1本300円(送料別)

購入を希望される方は、松江市観光文化課文化係
(TEL:0852-55-5517)までご連絡ください。